

齋藤茂吉全集

第一卷

(第一回配本)

昭和二十七年五月七日 第一刷發行

齋藤茂吉全集 第一卷

定價三百六十圓

著者

齋藤 茂吉
さいとう もきち

發行者

東京都千代田區神田一ツ橋二丁目三番地
岩波 雄二 郎
いわなみ ゆうじ

印刷者

東京都青梅市根ヶ布三八五番地
山田 一 雄
やまだ いちゆう



發行所

東京都千代田區
神田一ツ橋二丁目三番地
株式會社

岩波書店

落丁本・亂丁本はお取替いたします

株式會社大化堂印刷・製本

目次

赤光

自明治三十八年至明治四十二年

1	折に觸れ	三
2	地獄極樂圖	五
3	螢と蜻蛉	七
4	折に觸れて	七
5	蟲	一〇
6	雲	一一
7	苜しほ	一三
8	留守居	一四
9	新年の歌	一五

10	雑歌	一七
11	鹽原行	一九
12	折に觸れて	二四
13	細り身	二七
14	分病室	三二

明治四十三年

1	田螺と慧星	三三
2	をさな妻	三四
3	悼堀内卓	三五

明治四十四年

1	此の日頃	三七
2	おくに	三八
3	うつし身	四〇
4	うめの雨	四三

大正元年

5	蔵王山	四五
6	秋の夜ごろ	四六
7	折に觸れて	四八
1	陸岡山中	五三
2	木の實	五三
3	或る夜	五四
4	木こり	五六
5	犬の長鳴	五七
6	さみだれ	五七
7	折々の歌	五九
8	夏の夜空	六二
9	土屋文明へ	六三
10	狂人守	六四
11	海邊にて	六五

大正二年

12	郊外の半日	六八
13	葬り火	七〇
14	冬來	七三
15	柿乃村人へ	七五
16	ひとりの道	七六
17	青山の鐵砲山	七八
18	折に觸れて	七九
19	雪ふる日	八〇
20	宮益坂	八二
1	さんげの心	八三
2	根岸の里	八五
3	きさらぎの日	八六
4	神田の火事	八七
5	口ぶえ	八八

6	おひろ	八九
7	死にたまふ母	九五
8	みなづき嵐	一〇三
9	麥奴	一〇四
10	七月二十三日	一〇六
11	屋上の石	一〇六
12	悲報來	一〇七
13	先師墓前	一〇九
	「赤光」初版跋	一一一
	「赤光」再版に際して	一二三
	「赤光」三版に際して	一二五
	改選「赤光」跋	一二五
	改選「赤光」第三版跋	一二六
	新版「赤光」後記	一二八

あらたま

大正二年

1	黒き蜂	一二三
2	折にふれ	一二四
3	野中	一二五
4	乾草	一二六
5	宿直の日	一二七
6	一本道	一二八
7	お茶の水	一二九

大正三年

1	七面鳥	一三〇
2	一心敬禮	一三一
3	雑歌	一三四

4	諦念	一五六
5	とのゐ	一五七
6	蝌蚪	一五八
7	朝の螢	一五九
8	百日紅	一六〇
9	遊光	一六一
10	海濱守命	一六二
11	三崎行	一六四
12	秩父山	一六七
13	時雨	一六八
14	冬日	一六九
大正四年		
1	小竹林	一五一
2	雑歌	一五三
3	朝	一五四

4	春雨		一五五
5	折にふれ		一五七
6	雉子		一五七
7	寂しき夏		一五九
8	漆の木		一五九
9	渚の火		一六一
10	海濱雑歌		一六二
11	雨後		一六四
12	折々の雨		一六五
13	冬の山		一六六
14	こがらし		一六九
15	道の霜		一七一
大正五年			
1	夜の雪		一七三
2	雑歌		一七四

3	長塚節一周忌	一七五
4	春泥	一七六
5	寂土	一七七
6	折々の歌	一七八
7	體膚懈怠	一八〇
8	雨蛙	一八一
9	五月野	一八二
10	初夏	一八三
11	深夜	一八四
12	暗緑林	一八六
13	蠅	一八七
14	蝸	一八八
15	折にふれ	一八九
16	故郷。瀬上。吾妻山	一九〇
17	寒土	一九三

大正六年

1	節忌	一九三
2	赤彦に酬ゆ	一九七
3	蹄のあと	一九八
4	友に	一九九
5	春光	二〇一
6	三月三十日	二〇二
7	獨居	二〇三
8	折にふれ	二〇五
9	初夏	二〇七
10	室にて	二〇九
11	曇り空	二一〇
12	日暈	二一一
13	漫吟	二一二
14	晩夏	二一四

15	日々	二五
16	停電	二六
17	午後	二七
18	馬追	二七
19	箱根漫吟	二八
20	長崎へ	二六
	あらたま編輯手記	二九
	「あらたま」第八版にのぞみて	二九

つゆじも

大正七年

漫吟	二四三
----	-----

大正八年

雑詠	二四七
----	-----

大正九年

漫吟	二五四
温泉嶽療養	二六二
長崎	二七九
唐津濱	二八二
古湯温泉	二八七
長崎	二九三
六枚板	二九四
小濱	二九六
嬉野	二九八
長崎	二九九
長崎より	三〇四
歌會	三〇九

大正十年

九州の旅	三二〇
長崎	三二六
長崎を去り東上	三二九
吳先生莅職二十五年賀歌（佛足石調體）	三四
歸京	三七
雜吟	三〇〇
山水人間蟲魚	三四
小吟隨時	三四一
洋行漫吟	三四三
「つゆじも」後記	三四六
後記	一

歌
集
一